

3 戸田市立小・中学校の紹介



戸田市立戸田第一小学校

所在地 戸田市上戸田3-7-5 児童数 869人
 校長 大沼 公子 学級数 30学級
 教頭 田中 耕次・人見 礼子 教職員数 60人
 創立 明治10年5月1日 開校記念日 5月1日



タブレットを活用した探究活動

・ 本校の特色

本校は開校147年の歴史を持つ、児童数869名、30学級（内特支学級4）の大規模校である。目指す学校像を「どの子どもオンリーワン 未来を創造する力を育む学校～自分の頭で考え、多様な人と協働してやり抜く子をめざして～」と設定し、学校・家庭・地域が協働するコミュニティ・スクールを推進している。今年度は、『『できる』が『わかる』～個性と多様性を育む PBL～』をテーマに、PBL 型学習の研究をさらに深化させ、学習活動を通して自分のよさや可能性に気づける児童を育成するとともに、学校の教育目標具現化を目指している。

・ 校訓と学校教育目標

「誠実」「剛毅」「勤儉」（校訓） ★気づく ★創る ★助け合う（学校の教育目標）

・ 本年度の研究テーマ

「できる」が「わかる」～個性と多様性を育む PBL～

令和5・6・7年度戸田市教育委員会委嘱研究



戸田市立戸田第二小学校

所在地 戸田市喜沢南2-2-37 児童数 942人
 校長 山根 淳一 学級数 31学級
 教頭 才田 真弘・菊地 奈津子 教職員数 63人
 創立 昭和27年5月30日 開校記念日 5月30日



ジャムボードを活用しての話し合い

・ 本校の特色

本校は集合住宅が立ち並ぶ地域であり、児童数が約942名、学級数が31学級と大規模校である。教育の特色として、まち全体を学習の場としてとらえ、地域とともに創る持続可能な「学びのカタチ」について研究を進めている。そこで、生活、総合的な学習の時間を核として、「ホンモノとのつながり」「発展性のある課題」「相手意識」「多様な評価」「カリキュラム・マネジメント」等をキーワードにPBL・STEAMカリキュラムの創造に取り組み、児童の創造性・問題発見力・論理力・学ぶ主体性の育成を図っている。Chromebookや関連するICT機器（3Dプリンター等）、プログラミング機器（MESH、スフィロー、Viscuit等）をフル活用するとともに、メタバース美術館にも挑戦する等教育DXを進めている。

・ 校訓と学校教育目標

校訓『自主・誠実・和楽』

学校教育目標『心豊かに 21世紀を たくましく 生き抜く 子』

・創造性 ・問題発見力 ・論理力 ・学ぶ主体性

・ 本年度の研究テーマ

Open up～主体的に学び続け、他者と協働し、新たな価値を生み出すことができる児童の育成～



戸田市立新曾小学校

所在地 戸田市新曾南2-13-8 児童数 689人
 校長 加藤 貴嗣 学級数 25学級
 教頭 狗飼 英典 教職員数 51人
 創立 明治43年2月23日 開校記念日 2月1日



ルールメイキング

・ 本校の特色

本校は、昭和35年に開校し64年目を迎える。学区には複合型コミュニティーセンターや学校給食センターがあり、近くには荒川が流れている。教育の特色として、セサミストリートカリキュラムを軸としたカリキュラム・マネジメントと共に、ルールメイキングを推進し、児童の自己肯定感を高め、「課題解決力」「協働力」「自ら学びに向かう力」の育成に取り組んでいる。また、保護者や地域の方々とともに、共生社会で活躍できる人材を育成するための教育活動を推進している。

・ 校訓と学校教育目標

校訓：★あかるく<徳育> ★かしこく<知育> ★たくましく<体育>

学校教育目標：夢をえがき 計画を立て 行動する 児童の育成

・ 本年度の研究テーマ

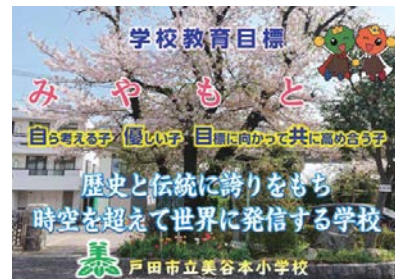
新曾中学校区：新曾（地域）から世界へ 主体的に学ぶ児童生徒の育成

本校：「つなぐ」～カリキュラムを、人を、社会をつなぐ、資質・能力ベースの学び～



戸田市立美谷本小学校

所在地 戸田市美女木7-11-3 児童数 320人
 校長 藤川 英子 学級数 14学級
 教頭 嶋 広志 教職員数 23人
 創立 明治6年1月20日 開校記念日 1月20日



・ 本校の特色

本校は、明治6年に開校し、開校151年という戸田市内で最も歴史と伝統のある学校である。これまでの150年に及ぶ教育実践の蓄積の上に、現代のニーズに応じた教育を取り入れ、世界に発信する子供たちを育てている。令和5年度からは、心を育てる学級経営を基盤とし、SEEPプロジェクトによる先進的な研究を推進している。生活科やけやきタイム（総合的な学習の時間）等では、子供たちが自ら課題を考え、自分事としてその解決方法を探っていく PBL の実践を全学年で行い、子供たちの協働的な学びを促し、教科横断的に資質・能力の向上を目指している。学区内には道満グリーンパークがあり、その恵まれた環境を生かし、教育活動の質的向上につなげている。

・ 校訓と学校教育目標

歴史と伝統に誇りをもち 時空を超えて世界に発信する学校

⑦ 自ら考える子 ⑧ 優しい子 ⑨ 目標に向かって ⑩ 共に高め合う子

・ 本年度の研究テーマ

「心豊かに学び合い、未来を拓く児童の育成～心を育てる学級経営 SEEP プロジェクト～」



戸田市立笹目小学校

所在地 戸田市笹目6-9-1 児童数 266人
 校長 武藤 昌博 学級数 13学級
 教頭 川上 奈緒子 教職員数 34人
 創立 明治7年3月15日 開校記念日 3月15日



農業体験の充実「笹目っ子農園」

・ 本校の特色

本校は、戸田市の西部に位置し、本年度は記念すべき開校150年目を迎える。学校周辺には荒川、彩湖があり、自然や緑豊かな教育環境に恵まれている。地域の人口変動は、比較的少ない。地域の方々は、学校の教育活動に協力的である。保護者の中には卒業生も多い。地域とともに作る学校「コミュニティ・スクール」を積極的に推進している。

【知】ICTでの個別最適な学び、ABCタイム、読書タイム、お話の花束（ボランティアによる読み聞かせ）

【徳】「ふわふわ言葉」「ふわふわスリッパ」の取組、ネット利用ルールづくり活動、体験活動の充実

【体】季節に合わせた運動や遊びの実施（縄跳び、持久走）、投力向上に向けた環境づくり

・ 校訓と学校教育目標

「かしこく やさしく たくましく」

～「子供を育てる学校」から「子供が育つ学校へ」～

・ 本年度の研究テーマ

「自ら学びに向かう児童の育成」



戸田市立戸田東小学校

所在地 戸田市下戸田1-11-15 児童数 1091人
 校長 高橋 博美 学級数 35学級
 教頭 黒崎 正彦・筒井 陽子 教職員数 76人
 創立 昭和38年4月1日 開校記念日 2月22日



・ 本校の特色

本校は、本年度、開校61年目を迎える。児童数1,091名、35学級の大規模校である。令和3年度4月より、小中施設一体型の新校舎で教育活動を行っている。昨年度からは教育課程特例校となり、「しこのめタイム」を新設し、戸田型PBLを中心に子供が主体の授業づくりを行っている。「かんどう」のある学校をキーワードに子供たちに「感動」を与える学校、教職員が「歓働」する学校、地域・保護者の「汗動」に支えられる学校をめざしている。

・ 学校教育目標

- ・ 自分が好き ～自ら考え 選び 行動する子～
- ・ ひとを大切に作る ～多様な集団の中で 他者を尊重し 協働する子～
- ・ 未来を創る ～しなやかな発想で 自分の可能性を拓げる子～

・ 本年度の研究テーマ

「未来社会を創造する児童生徒の育成」
 思考×表現×協働 ～STEAM教育で未来の学びへ～



戸田東小
facebook



戸田東小
ホームページ



戸田市立戸田南小学校

所在地 戸田市本町4-8-2 児童数 769人
 校長 大森 雅彦 学級数 27学級
 教頭 永谷 拓紀 教職員数 51人
 創立 昭和43年4月1日 開校記念日 3月3日



地域の方との熟議

・ 本校の特色

本校は、JR戸田公園駅に近く、マンションが多い住宅地内にあり、戸田第一小学校から分離独立した、開校56年目を迎えた大規模校である。本校では今年度より、実社会につながる学び「PBL」(Project Based Learning「課題解決型学習」)を通して、予測不能な未来において、子供達が社会の中でたくましく生き抜いていけるよう、子供達の非認知能力を高めることを目標に研究を進めている。子供達の自己肯定感や学ぶ意欲を高めるために日々の授業改善を図っている。

・ 校訓と学校教育目標

「気づく 助け合う きたえる」

・ 本年度の研究テーマ

「社会で生き抜く非認知能力の育成」

～PBLにおける他者との関わりを通して～

「アイスコア」

ア：ありがとう コ：ごめんね
 イ：いいよ コ：こんにちは
 ス：すごいね ア：ありがとう



戸田市立喜沢小学校

所在地 戸田市喜沢1-48-6 児童数 395人
 校長 手塚 浩 学級数 15学級
 教頭 伊藤 裕二 教職員数 40人
 創立 昭和43年4月1日 開校記念日 2月24日



個別最適な学び

・ 本校の特色

本校は、蕨市や川口市と接する戸田市の最も東側に位置する、開校56年目を迎える学校である。『一人とみんなの Well-being を実現する～すべての児童が「学校生活が楽しい」「学びが楽しい」と言える学校』を目指すため、すべての児童の Well-being をすべての児童と教職員で創る「スクールワイド PBS」、多様な児童の主体性・学習意欲・自律を大切にされた最適な学びを提供する「個別最適な学び」、多様な児童一人一人に適切かつ公正な支援を提供する「個別最適な支援」に取り組み、子どもが主語の学校づくりをしている。また、昨年度から、外部機関と連携し、PBS の学習面のシステムである「RTI」も取り入れ、多様なデータから児童一人一人への適切な支援を考えて実践し、誰一人取り残されない教育を進めている。

・ 校訓と学校教育目標

「夢と希望をもち 未来社会を 心豊かに たくましく生きる喜沢っ子

・ 本年度の研究テーマ

児童と共に創る未来の学校 ～PBS×個別最適な学び～



戸田市立笹目東小学校

所在地 戸田市笹目3-17-12 児童数 621人
 校長 片岡 昭博 学級数 22学級
 教頭 崎山 英則 教職員数 46人
 創立 昭和47年4月1日 開校記念日 3月3日



第1学年 算数 自由進度学習

・ 本校の特色

本校は戸田市の西部に位置し、周辺には大宮バイパスや首都高速大宮線等幹線道路に囲まれている。また学区には児童センターなどの社会教育施設がある。学校水田をはじめ、りんごやプラムなど実の成る木々が並ぶフルーツロードやグリーンボランティアによる定期的な花壇整備など緑豊かな環境づくりに努めている。また、この環境を活かして、生活、総合的な学習の時間を中心に探求学習を充実させるとともに、教科においては児童の多様性に対応する指導法を研究し、コンピテンシーの向上を図っている。

・ 校訓と学校教育目標

深く考え行動する子ども ・ 進んで働く子ども ・ 健康でたくましい子ども ・ 思いやりのある子ども

・ 本年度の研究テーマ

「実社会で生きて働く力（コンピテンシー）の育成」

～ 個別最適な学びと協働的な学びの創造 ～（生活科・総合的な学習の時間）



戸田市立新曾北小学校

所在地 戸田市大字新曾1367 児童数 712人
 校長 星野 正義 学級数 27学級
 教頭 水沼 美和 教職員数 54人
 創立 昭和48年4月1日 開校記念日 2月12日



異学年交流「にじいろ活動」

・ 本校の特色

本校は昭和48年4月1日に新曾小学校から分離独立し、今年度、開校51周年目を迎える。学区には市の公共施設等が多く、博物館・図書館、スポーツセンター等の施設を学習に有効活用している。

「かしこく なかよく たくましく ひろい心で」の学校教育目標のもと、児童の育成したい力として「自分のこととして捉える力・自ら課題を発見し粘り強く学び続ける力」を設定し、学級経営を基盤としながらその力の育成を図っている。

・ 校訓と学校教育目標

校訓 「英知」 「友愛」 「剛健」 「寛容」

学校教育目標 ーかしこく なかよく たくましく ひろい心でー

・ 本年度の研究テーマ

新曾中学校区：新曾（地域）から世界へ 主体的に学ぶ児童生徒の育成

本校：自分ゴト化し、挑戦する児童の育成



戸田市立美女木小学校

所在地 戸田市美女木2-33-1 児童数 674人
 校長 田野 正毅 学級数 23学級
 教頭 勝俣 武俊 教職員数 45人
 創立 昭和55年4月1日 開校記念日 11月8日



外部人材と連携した PBL 授業

・ 本校の特色

本校は、地域に愛され地域に支えられた創立44年目の学校である。戸田市の西北にあり、通学区域内に首都高速、東京外郭環状道路、通学区域内に接して新大宮バイパスが走る交通の要所にある。

校内には、季節を彩る草花が咲き誇り、緑豊かな樹木の茂る整った教育環境のもと、落ち着いた雰囲気の中で、学校応援団による読み聞かせ（おはなしくまさん）や外部人材との連携を図った PBL（プロジェクト・ベースド・ラーニング）など、地域や社会とのつながりを活かした教育活動に取り組んでいる。

・ 校訓と学校教育目標

★かしこく（正しく考える子ども）★やさしく（思いやりのある子ども）★たくましく（元気な明るい子ども）

・ 本年度の研究テーマ

一人ひとりの学び×協働×ホンモノ＝わくわく ～対話でつくる関係性～



戸田市立芦原小学校

所在地 戸田市新曽1961 児童数 700人
 校長 山下 理恵子 学級数 22学級
 教頭 伊藤 敏郎 教職員数 42人
 創立 平成17年4月1日 開校記念日 11月1日



タブレットを活用した PBL 学習（6年）

・ 本校の特色

本校は、開校19年目、JR 埼京線北戸田駅西口から徒歩5分に位置する学校施設と生涯学習施設との複合型施設である。コミュニティ・スクールの実施を通して、外部人材や地域の環境等を積極的に活用するなど、学校・家庭・地域のパートナーシップでつくる教育活動を実践している。本校の特徴であるオープンスペースとなっている教室や廊下等、多様な空間を活用したグループ学習や充実したICT環境を活かした学習とともに、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりやセサミストリートカリキュラム、生活科、総合的な学習の時間を中心とした PBL の研究等を積極的に推進している。

・ 校訓と学校教育目標

○まなびあい（知）学び 磨き合う子

○みとめあい（徳）信じ 支え合う子

○きたえあい（体）励み 鍛え合う子

★児童一人一人の可能性を最大限に引き出し伸ばし共生社会の形成者を育成する学校★

・ 本年度の研究テーマ

新曽中学校区：新曽（地域）から世界へ 主体的に学ぶ児童生徒の育成

本校：「学ぶ情熱にあふれ よりよい未来を拓く児童の育成 ～仲間と家庭と地域と創る探究的な学習～」